

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																						
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等			備考								
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の基盤をなす小規模事業者及び中小企業者の経営基盤の安定強化に努める。また、課題解決提案・経営革新への積極的な支援を実施する。特に巡回指導は4人の経営指導員が多忙な小規模事業者に訪問することで時間的短縮が図られる上、事業者が向いて聞くまでもない様な些細な相談を受けることができる。	巡回指導 実企業数 337件 （うち非会員11件） 延べ件数 621件 （うち非会員13件） 窓口相談指導 実企業数 813件 （うち非会員27件） 延べ件数 1835件 （うち非会員37件） 課題解決提案件数 51件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数			指標	課題解決提案件数			小規模事業者の記憶意識の向上を図り、適正な税務申告を促した結果、経営改善がなされた。税制改正に伴う令和6年度所得税特別扣除（定額減税）に対し制度の理解と正確な申告が出来た。	総合評価	A	事業実施評価の A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標①	目標②	小規模事業者は様々な角度から支援が必要であることを考慮し、重点的に支援を行う。今後も現行どおり計画目標を定めて継続実施する。					
					（達成度 136.4 %）				（達成度 127.5 %）										現行どおり	現行どおり						
				目標数値	1800	実績数値	2456	目標数値	40	実績数値	51								実施方法①	実施方法②			現行どおり	現行どおり		
記帳継続指導	正しい経理と記帳慣行を身につけてもらうことにより、経理管理や納税の適正化を促す。	前期源泉指導、年末調整、決算、確定申告、消費税申告、記帳指導 指導対象企業数 90事業所 指導延回数 1184回 指導延日数 489日	小規模事業者	指標	指導対象企業数			指標	（達成度 %）			小規模事業者の記憶意識の向上を図り、適正な税務申告を促した結果、経営改善がなされた。税制改正に伴う令和6年度所得税特別扣除（定額減税）に対し制度の理解と正確な申告が出来た。	総合評価	A	事業実施評価の A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標①	目標②	窓口やHPにて記帳機械化事業をPRし、指導対象企業数の維持に努める。年度末に事務依頼があることから、新規創業者やインボイス登録による課税事業所へ記帳継続事業の周知を徹底する。					
					（達成度 100.0 %）				（達成度 %）										現行どおり	現行どおり						
				目標数値	90	実績数値	90	目標数値		実績数値									実施方法①	実施方法②			実施方法①	実施方法②	現行どおり	現行どおり
講習会等	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の基盤をなす小規模事業者及び中小企業者の経営基盤の安定強化に努める。具体的には月1回の定例税務相談を始め年末調整、確定申告の勉強会及び個別指導、経営に関する講習会を開催する。	集団指導 6回 延べ64件 個別指導 34回 延べ168件	小規模事業者	指標	集団指導参加者数			指標	個別指導参加者数			定例の集団及び個別講習会を開催することにより、小規模事業者が税務、金融、労務について正しい知識を身につけることができた。	総合評価	B	事業実施評価の B	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標①	目標②	定例の講習会は広く認知されている。定例以外でも時代のニーズにあった有益性の高い講習会を企画する。次年度より効率的な運営に努める。					
					（達成度 53.3 %）				（達成度 63.4 %）										現行どおり	現行どおり						
				目標数値	120	実績数値	64	目標数値	265	実績数値	168								実施方法①	実施方法②			実施方法①	実施方法②	現行どおり	現行どおり
若手後継者等育成事業	小規模事業者・中小企業者は大企業とは異なり、自己変革に繋がる機会が少ない。この状況を変えるため小規模事業者等の自己研鑽、人格教養、経営能力の向上に資する機会を設けて、企業の発展と地域社会の繁栄に貢献する。併せて、会員相互の連携と親睦を図る。	地域振興事業、研修会等 事業開催回数 青年部 3回 延べ参加者数 624名 青年部会員数 68名 女性会会員数 52名	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）及び女性経営者等	指標	青年部会員数			指標	女性会会員数			各種事業を企画・運営することにより、会員の資質向上を図る事ができた。コロナ前の賑わいを取り戻すべく地域を元氣付ける事業を実施し、大府市の活性化が図られただけでなく、青年部、女性会という団体を市民に向けてPRできた。	総合評価	A	事業実施評価の A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標①	目標②	青年部は、経営者等会員の資質向上に努める。女性会は、高齢化が進んでいることから、引き続き若手会員の増強を図り、今後の事業運営の安定を図る。					
					（達成度 85.0 %）				（達成度 110.6 %）										現行どおり	現行どおり						
				目標数値	80	実績数値	68	目標数値	47	実績数値	52								実施方法①	実施方法②			実施方法①	実施方法②	現行どおり	現行どおり
若手後継者等育成事業「全国会長研修会」【青年部】	日本商工会議所青年部第42回全国会長研修会「ふくしま全国会議」への参加。全国の会長及び次年度会長が集まる本イベントに参加することで、会長同士の繋がりがりや会長の役割を学ぶことが出来る。それを単会に持ち帰ることで、会の円滑な運営や自己の成長を目指す。	日程：令和6年11月15日（金）、16日（土） 場所：福島県郡山市 参加者：令和6年度会長 早川武仁、令和7年度会長予定者 古田寛明 満足度：100%	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）	指標	参加者数			指標	満足度			会長、会長予定者同士の繋がりを強くしただけでなく、次年度の会長には、会長になる自覚を芽生えさせることができた。	総合評価	A	事業実施評価の A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標①	目標②	次年度は全国大会に、会長、副会長、次年度会長の3名で参加する。					
					（達成度 100.0 %）				（達成度 125.0 %）										上げる	現行どおり						
				目標数値	2	実績数値	2	目標数値	80	実績数値	100								実施方法①	実施方法②			実施方法①	実施方法②	現行どおり	現行どおり
若手後継者等育成事業大府商工会議所青年部 職業体験の開催【青年部】	青年部の綱領には「地域の経済的発展の支えとなる」と記載されている。地域の子供に楽しんでもらうイベントを開催するだけでなく、商工会議所青年部の名の通り、子供達の将来設計に役立てる事業を開催することで地域経済の一助となるようなイベントを目指す。	日程：令和6年10月26日（土）、27日（日） 場所：メディアス体育館おおふツサルコート及び大和幼稚園 参加者数：587名（28日320名、29日（日）267名） 内容：市内事業者による子供向け職業体験会 満足度：96%	一般市民	指標	参加者数			指標	満足度			青年部メンバーやOBのほか青年部メンバー以外からも参加があり、子供達に幅広い業種の職業体験を提供することができた。	総合評価	A	事業実施評価の A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標①	目標②	令和7年度も引き続き開催する予定。					
					（達成度 117.4 %）				（達成度 120.0 %）										現行どおり	現行どおり						
				目標数値	500	実績数値	587	目標数値	80	実績数値	96								実施方法①	実施方法②			実施方法①	実施方法②	現行どおり	現行どおり
																									変更する	現行どおり

団体名：大府商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価														今後の展開・改善点等	備考						
				目 標①			目 標②			得られた効果	A B C D評価				目標①					目標②					
若手後継者等育成事業 大府商工会議所青年部 研修事業の実施【青年部】	接待や会食の機会が増えているが、若手後継者はマナーを知らないことによって、自信を持ってその場に臨めないことがある。他者に不快な思いをさせず、コミュニケーションを図るには基本的なマナーを身に付けておくことは社会人として必須である。ビジネス上の会食では、個人ではなく、会社を代表しており、円満な人間関係の構築が仕事につながることを理解し、ホスピタリティをもった事業経営を目指す。	日程：令和7年2月27日(木) 場所：マキシマニス 参加者数：35名 内容：テーブルマナーを含めたビジネスマナーの基礎研修 満足度：100%	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）	指標	参加者数			満足度			テーブルマナーをはじめ基礎的なビジネスマナーに不安を抱える事業者にわかりやすく実践的な学びの機会を提供できた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	令和7年度は政策提言に係る研修を検討する。				
					(達成度 70.0 %)			(達成度 125.0 %)									必要性	A	現行どおり	現行どおり					
					目標数値	50	実績数値	35	目標数値	80												実績数値	100	実施方法①	実施方法②
B	A	現行どおり	現行どおり																						
商店街振興事業（げんき商店街推進事業）	小規模商店の現況はいうまでもなく厳しい状況にあり、中心市街地の衰退は著しい。このような厳しい状況を少しでも打破するためには、魅力ある商店づくり（個店対策支援）が必要であり、これにより街にも活気が生まれ、ひいては、地域活性化が図られる。	・「一店逸品運動」 参加事業所 34事業所 ・「おおぶれあいゼミナール」 参加事業所数 40事業所 ・「大府あきんど塾」 参加事業所 39事業所	小規模事業者	指標	参加事業所数			満足度			一店逸品運動により、店主同士の交流が活発となり、コラボ商品の開発や、販路開拓につながる等、商業の活性化に貢献できた。 ふれあいゼミナールは新規顧客の獲得やニーズ把握等自店の磨き上げにつながった。 セミナーは実践形式で行ったことにより、個店の資質向上につながった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	物価高騰による消費者の購買行動にも消極的な動きがある中、より価値のある商品・サービスを提供し差別化を図る必要があると考える。 量販店にはない魅力の“発信”を重視した事業を展開していく。				
					(達成度 125.6 %)			(達成度 %)									必要性	A	現行どおり	現行どおり					
					目標数値	90	実績数値	113	目標数値	実績数値												100	実施方法①	実施方法②	
																									A
A	A	現行どおり	現行どおり																						

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。